

平成 30 年 9 月 20 日

9 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では、盆明けも台風の影響で入荷は鈍い。スギ 3.0m 柱材、ヒノキ 4.0 m 土台取りは依然好調である。9 月に入りスギ 3.65m・4.0m 中目材も引き合いが良くなった。全体的に荷動きは昨年と比べ良く、この状況が続くだろう。原木不足が続く中、スギ、ヒノキの構造材は引き合いが強く、価格も良いが、製品市況が原木に比べ鈍く、製材工場も仕入に苦戦。今後、新材シーズンに向けて皆伐材などの良材が入荷予定である。

群馬県では原木の出材が激減し、虫害も増加しており、集荷に苦戦している。原木在庫は減少傾向にある。操業は順調で公共工事と大型物件が中心で多忙な状況。一般物件は例年に比べ出足が悪い。製品販売は順調なもの原木集荷に不安が残る。製品在庫は羽柄材が全体的に品薄だが、母屋、桁等には一服感がある。柱、間柱に多少の荷動き感がある。製品価格は一段落して横ばいで推移。地場の PC 工場の受注は前年比 1 割減の様様。

2. 米材

8 月後半になり、産地の気温が低下し、朝晩の湿度が上昇したことで山火事警戒レベルは低下。9 月中旬より伐採も平常に戻る見通しである。米国内港頭在庫は潤沢な水準を維持しながら、目先の材不足の懸念は薄らいだ。カナダ側は 8 月に伐採が殆ど行われない中で通常船積みのため、在庫は払底状態にある。今年一杯はタイトな状況が続くだろう。ウェアハウザー社の 9 月積み対日価格(推定)は前月比 \$10 ダウンの \$1,000。米国製材品価格の下落、天候の回復(原木不足懸念の後退)により日本側の値下げ要請を受け決着。米国製材品市況は 9 週続落後、底打ち反転し、現在 3 週続伸中である。

7 月の原木入荷量は 234 千 m^3 、1~7 月累計で 1,592 千 m^3 (前年同期比 0.6% 増)と前年同期並みの水準、出荷量は 234 千 m^3 、1~7 月累計で 1,560 千 m^3 (同 3.4% 減)とほぼ入出荷が見合った形。在庫は横ばいの 230 千 m^3 で在庫率は 1.04 ヶ月。国内の米材製材工場は盆明け後、荷動きが鈍った模様で秋需が待たれる。8 月の東京木材埠頭の入荷量は 23 千 m^3 (前月比 9.2% 減)、出荷量は 22 千 m^3 (同 15.6% 減)、在庫量は 53 千 m^3 (同 2.2% 増)。9 月以降の米材製品の入荷は少ないことが予想されている。9、10 月は受注も上向き傾向、8 月は盆休みもあり、在庫は一時的に増加したが、9 月以降の入荷は減少の見通しである。

第4・四半期のDF製材品産地価格は横ばい模様。

3. 南洋材

サバ州では新政府の伐採調査が入っており、大手伐採業者は全面停止の状態にある。年内一杯は伐採再開されない模様。サラワク州では伐採自体は変わらないが、適材が少なく原木輸出は低水準。PNG、ソロモンでは価格的には安定しているが、サバ州からのシフトで、日本向け合板用樹種の価格は上昇している。インドネシアのカリマンタンの伐採は順調だが、中国・インド向け需要のため価格は依然上昇中である。工場の原木在庫は確実に増えてきた。9月予想の原木入荷は11千 m^3 、出荷は11千 m^3 、在庫は20千 m^3 、製材品の入荷は35千 m^3 。フリー板は国内在庫が多いため、価格も下げ基調にある。

4. 北洋材

産地の各工場とも原木在庫、稼働状況は低水準。日本市場は停滞しているが、まだ契約残があり、売り焦ってはいない。良質赤松原木の不足で、日本向け30×40製品の品質が全般に低下している。中国-米国の関税問題で中国からの引き合いが急速に落ちており、日本向けに低級製品の売り込みが増加。現地挽き完成品は\$5-10の下げ。原板は国内からは値下げ要求、国内挽きは原板コストは高いものの値上げは困難。9月予想の原木入荷は8千 m^3 、出荷8千 m^3 、在庫19千 m^3 、製品入荷(東京+川崎)は18千 m^3 、出荷19千 m^3 、在庫38千 m^3 。

5. 合板

原材料について、国産材は東北産カラマツの引き合いが強く、価格も上昇傾向にある。荷余り感は無く、需給バランスが取れている。ロシア材は価格横ばいだが、カラマツの出材が限定的で一部商社はシベリア材へのシフトも考えている。米材価格は横ばいだが、山火事の懸念もあり、強含み。7月の国内合板生産量27.8万 m^3 のうち針葉樹合板は高水準の26.8万 m^3 、出荷量は26万 m^3 、在庫量27.3万 m^3 のうち構造用合板は14.6万 m^3 と6カ月連続での増加となった。国内針葉樹合板の9月メーカー出し価格は横ばいで強気姿勢に変化はない。8月の盆休みで荷動きが完全に止まった感じもあり、急な需要増も考えづらく、価格の乱れも予想される展開と言える。針葉樹合板で不足感のあるアイテムは無く、輸入合板では生型枠の不足が強く、依然構造用、中厚物の品不足は続き、価格も上昇している。7月合板輸入量は21.8万 m^3 と先月より1.4万 m^3 ほど少なく、2カ月連続の減少となった。特にインドネシアからの入荷が低水準となった。産地マレーシアの一部地域では天候が安定し、7月に比べ原木在庫量は増えている。インドネシアでは乾季の天候となり、原木も比較的順調に確保できている。メーカーへの他国からの引合が強く、緩

む心配はない。先行き、針葉樹合板は価格が一気に落ちることは考えにくい
が、価格の下落の可能性を考えて買い控えも散見され、余計停滞感が強い。
輸入合板は直近の輸入量の少なさや秋需の心配から徐々に国内市況が引き締
まり、価格も上昇すると思われる。

6. 構造用集成材

各社ともラミナ在庫は通常量かやや多い模様。秋に向けてラミナが大きく欠
品する可能性はないと予測される。第4・四半期の契約交渉で欧州サプライヤ
ーは€5~10 の値上げ要請と思われるが、国内集成材メーカーは製品販売価格
の伸び悩みから据え置き、あるいは€1 でも下げを要求する見込み。国内メー
カーはラミナのコスト高によりこれ以上の値下げの余地はない。輸入 RW 平角
は 63,000 円/m³を切るものが流通し始めているが、PC 工場の在庫は潤沢。9
月分をスキップしているところもあり、年末にかけて輸入は減少する見込み。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷は例年並みだが、台風、災害等による林道の崩壊や倒木等
の被害がある。解体材の入荷も例年並みだが、出荷が上向かず余剰感がある。
製紙用国内針葉樹チップは一部の製紙メーカーでトラブルによる操業停止が
発生し、チップの使用量が減少。この操業停止により燃料用も減少し、地域に
よっては余剰感が強い。輸入針葉樹チップは割高感があり、国内産チップの出
荷要請を継続中。

8. 市売問屋

記念市、展示会でも買い気のある材木店が少なく、当用買いの域を出ない。
大工・工務店の仕事が少ないため材木店も在庫しないので悪循環になってい
る。国産材構造材の荷動きは悪い、外材構造材も置き場、仕事量の関係で必
要買い。国産材の敷居、鴨居、回り縁は動かず、外材の PL、SP も値上がりで
荷動きが悪い。

9. 小売

スギ柱角・母屋角、ヒノキ土台角が強含み。今のところ西日本豪雨の影響
で供給が絞られる様子はない。市況は横ばいから強含み。米加材は産地の山
火事の影響が懸念され、先高観はあるものの価格は保合い。欧州材は WW 間柱
材 3m 中心に強含み。ロシア材は国内市況の停滞と入荷減から高止まりの状況。
造作材では PL、SP は高止まり。針葉樹合板は盆前の荷動きはそれなりであつ
たが、盆過ぎは良くない。価格は横ばい。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↗
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	↗

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↘
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗ →
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	↗
		アカマツ (KD) 16×40上級	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→